

## 活動紹介

NPO 法人千葉県森林インストラクター会

講座名	「森に親しむ講座」秋の大町自然観察園を楽しもう		
開催日時	2021 年 11 月 18 日 (木) 10 時 ~14 時		
開催場所	市川市大町自然観察園・鑑賞植物園	一般参加者	13 名

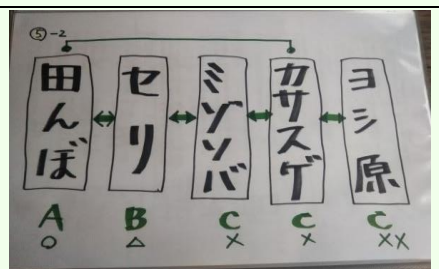
活動概要・・・晩秋の「大町自然観察園」と併設された熱帯植物園をのんびり回りました。

谷津の斜面林は常緑樹の中にアカメガシワ、ムクノキ、アオハダなどの黄色、イロハカエデ、トウカエデの紅が映え、足元の湿地に目を落とすとイノコヅチ、ミソソバ、ヤマイモなどの草紅葉が楽しめました。冬を過ごす小鳥たちの声が響き渡る谷津は、心配になる位に人を恐れないダイサギの幼鳥が目の前の水路で餌を探し、湿地の草むらには子だぬき達の作ったトンネルが張り巡らされ、生き物の気配がそこかしこに感じられました。

「大町自然観察園」は市川市に唯一残された谷津田の自然を残す貴重な空間です。米作をやめた谷津は土砂が流入し、湿地→ヨシ原→樹林へと遷移します。この谷津の自然を維持するために、併設された大町自然博物館の行っている湿地の維持管理を説明し、周辺の梨畑に支えられる谷津の環境についても触れました。

この谷津では約 400 種の植物が多く生き物を育てています。冬に出会うタテハチョウ科のキタテハ、アカタテハ、ツマグロヒョウモンなどの食草の違いから植物と虫の関係を説明しました。この日はあいにく曇ってしまい、本物のチョウたちの姿は見られませんでした。

午後からは「鑑賞植物園」を熱帯植物に詳しい FIC メンバーが案内しました。乾燥地帯のサボテン類と湿度 75% の温室の植物の特色を知ることができました。ゴクラクチョウカの花の作りや、一際大きい「タビビトノキ」の説明の後、「種子の宝石」と言われるその種子も用意され、熱帯植物の色に圧倒されました。



F I C 講師：植村敦子 アシスタント講師：鈴木晴美